

作成日 2023年 10月 13日

安全データシート

1. 化学品および会社情報

化学品の名称	N-エチルマレイミド(N-Ethylmaleimide)
製品名	N-エチルマレイミド
製品コード	F-022141
SDS整理番号	ZC23039-01
会社名称	善ケミカル株式会社
住所	東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階
電話番号	03-3839-5861
FAX番号	03-3839-5877
緊急連絡電話番号	03-3839-5861

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性		該当区分なし
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分2
	急性毒性(経皮)	区分3
	皮膚腐食性/刺激性	区分1B
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	皮膚感作性	区分1
環境に対する有害性		該当区分なし

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H300 飲み込むと生命に危険
H311 皮膚に接触すると有毒
H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H318 重篤な眼の損傷

注意書き

【安全対策】

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱後は手や顔をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

P301+P330+P331 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P301+P310 飲み込んだ場合: ただちに医師に連絡すること。
P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P361+P364 汚染された衣類をただちにすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P303+P361+P353 皮膚または髪に付着した場合: ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P303+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P310 ただちに医師に連絡すること。
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

- 【保管】
P405 施錠して保管すること。
- 【廃棄】
P501 内容物、容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成および成分情報

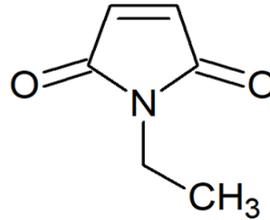
単一物質・混合物の区別
化学名または一般名
慣用名または別名

単一物質
N-エチルマレイミド(N-Ethylmaleimide)
1-エチル-3-ピロリン-2,5-ジオン、1-エチル-1H-ピロール-2,5-ジオン、
NEM 他

CAS番号
分子式(分子量)

128-53-0
C₆H₇NO₂ (125.127)

構造式または示性式



成分および濃度または濃度範囲
官報公示整理番号

99.0%以上(GC)

化審法：－
安衛法：－

4. 応急措置

- 吸入した場合
被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合
ただちに医師に連絡すること。
ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、または取り去ること。
皮膚を多量の水と石けんで十分に洗うこと。
- 眼に入った場合
ただちに医師に連絡すること。
水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合
ただちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
無理に吐かせないこと。
ただちに医師に連絡すること。
- 応急措置をする者の保護に必要な注意事項
適切な保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法
水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素(CO₂)、泡、粉末消火剤、砂
データなし
熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
関係者以外は安全な場所に退去させること。
消火作業は風上の安全な地点から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いること。
周辺火災の際は危険でなければ火災区域から容器を移動すること。
- 消火活動を行う者の特別な保護具および予防措置
消火作業の際は、必ず保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置
個人用保護具を着用すること。
漏出場所の風上から作業をおこない、風下の人を退避させること。
漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止すること。
- 環境に対する注意事項
封じ込めおよび浄化の方法および機材
環境中に放出しないこと。
飛散したものを掃き集めて、密閉できる容器に回収すること。
付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い
技術的対策
強酸化剤との接触を避けること。

安全取扱注意事項	<p>局所排気装置を使用すること。</p> <p>容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加える、または引きずるなどの粗暴な取扱いをしないこと。</p> <p>漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させないこと。</p> <p>使用していないときは容器を密閉しておくこと。</p> <p>取扱後は手や顔など、露出した部分をよく洗い、うがいをする。</p> <p>できれば密閉系で取扱うこと。</p>
保管	
安全な保管条件	<p>容器を密閉し、冷暗所に保管すること。</p> <p>施錠して保管すること。</p> <p>換気の良い場所で保管すること。</p> <p>酸化剤などの混触危険物質から離して保管すること。</p>
安全な容器包装材料	<p>法令の定めるところに従うこと。</p>

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度 設備対策	<p>設定されていない。</p> <p>この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。</p> <p>ばく露を防止するため、装置、機器の密閉化あるいは局所排気装置を設置すること。</p>
保護具	<p>呼吸用保護具</p> <p>手の保護具</p> <p>眼、顔面の保護具</p> <p>皮膚および身体の保護具</p>
衛生対策	<p>防塵・防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。</p> <p>不浸透性の手袋。</p> <p>保護眼鏡(ゴーグル型)。状況に応じ保護面。</p> <p>不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。</p> <p>この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。</p> <p>取扱後は手や顔など、露出した部分をよく洗い、うがいをする。</p>

9. 物理的および化学的性質

物理状態	固体
形状	結晶 ~ 粉末
色	白色
臭い	データなし
融点/凝固点	43°C ~ 46°C
沸点または初留点および沸点範囲	210°C
可燃性	データなし
爆発下限界および爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	72.9 °C - c.c.
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
粘性率	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	
[水]	やや溶けにくい
[その他の溶剤]	アセトン: 溶けやすい。エタノール: やや溶けやすい。
n-オクタノール/水分分配係数(log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度および/または相対密度(g/ml)	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性および反応性

反応性	データなし
化学的安定性	光により変質するおそれがある。
危険有害反応可能性	通常処理ではなし。
避けるべき条件	高温と直射日光
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素(CO)、二酸化炭素(CO ₂)、窒素酸化物(NO _x)

11. 有害性情報

急性毒性	経口	LD50: 25 mg/kg(ラット)
	経皮	LD50: 500 mg/kg(モルモット)
	吸入	データなし
皮膚腐食性/刺激性		データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		重篤な眼の損傷。
呼吸器感受性		データなし
皮膚感受性		データなし

生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚類	データなし
甲殻類	データなし
藻類	データなし
残留性・分解性	データなし
生物蓄積性(BCF)	データなし
土壤中の移動性	
n-オクタノール・水分配係数	データなし
土壤吸着係数(Koc)	データなし
ヘンリー定数(PaM3/mol)	データなし
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<p>廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 廃棄に際しては適切な保護具を着用すること。 廃棄の前に可能な限り無害化、安定化および中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にすること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。</p>
汚染容器および包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報	<p>容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。</p> <p>空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	2928
国連輸送名	Toxic solid, corrosive, organic, n.o.s.
国連分類	クラス6.1(毒物)
副次危険性等級	クラス8(腐食性物質)
容器等級	II
海洋汚染物質	非該当
その他の注意	<p>輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。 重量物を上積みしないこと。</p>

15. 適用法令

航空法	毒物類・毒物(施行規則第194条危険物告示別)
船舶安全法	毒物類・毒物(危規則第3条危険物告示別表)

16. その他の情報

主な参考文献	<p>独立行政法人製品評価技術基盤機構 NITE統合版GHS分類結果 (2023/10/12アクセス) ウェブサイト "PubChem" (2023/10/12 アクセス) 安全データシート "N-Ethylmaleimide", 東京化成工業株式会社 2022/03/19 改訂版 安全データシート "N-エチルマレイミド", 富士フィルム和光純薬株式会社 2023/02/03 改訂版 安全データシート "N-Ethylmaleimide", Sigma-Aldrich 2021/01/21 改訂版 SAFETY DATA SHEET (N-Ethylmaleimide), Survival Technologies Ltd.</p>
--------	--

記載内容の取扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴 2023年 10月 13日 作成